6.　春の霧島連山　韓国岳登山

krsma.htm by M.Nakanish　i2001. 5.　2 , 3.

5 月のゴールデン　ウイーク いかがでしたか?
若葉が目にしみる絶好の季節到来.
私は家内と二人　新緑の九州霧島へ　念願の韓国岳へ登ってきました。
5 月 2 日早朝に神戸を経って　霧島温泉にゆっくり浸かって翌日韓国岳に登って　美祢の家まで帰るスケジュル。
天候に恵まれ、韓国岳の 360 度の展望と両翼を広げ天空に峰を突き刺す印象的な高千穂の峰を楽しみました。
おまけに霧島にしかなく、5 月初旬に咲き出し、ほんの 1 週間で散ってしまうという天然記念物「ノカイドウ」の花並びに黄色い葡萄の房のような花を沢山つけたこれも霧島にしかない満開の「キリシマミズキ」に出会え、本当にラッキーでした。

久しぶりに気持ちのいいゆっくりとした山歩きが楽め、リフレッシュ　壮快な気分でかえりました。
霧島といえば「ミヤマキリシマ」程度しか知らなかったのですが、弥陀ケ原や韓国岳の登山道で沢山の人がカメラを構えていました。
4 月に満開となる「キリシマミズキ」が本年の寒さで遅れ、「ノカイドウ」の開花時期と重なり、霧島にしかない珍しい二つの花が同時に見れる本当に「まれな年」だったようで、本当に幸運。

「ノカイドウ」えびの高原で　　「キリシマ　ミズキ」韓国岳登山道で　2001.5.3.

「霧島の宝物」「ノカイドウ」は薄桃色の蕾と白い花が混じり、満開になると真っ白となる.
韓国岳の登山口「えびの高原」の県道脇でちょうど咲き初めの薄桃色のまじった清純な花を咲かせて、見取れるような美しさでした。

また　韓国岳の登山道の潅木の林のあちこちで「キリシマミズキ」が黄色の房を木一杯につけ、空の青と樹木の緑を背景に秋銀杏の紅葉の風情。良く見ると上向いて咲かず、花が垂れ下がる珍しい光景です。韓国岳と大浪池とにはさまれた狭い野原には「ハルリンドウ」が一輪　また一輪　青い花を咲かしていました。まだちょっと時期的には早いようですが・・・・・・。花については全く予備知識なしでしたが実にきれいでした。

● 前日登った高千穂の峯　御鉢

高千穂峰　お鉢

高千穂河原登山口から　御鉢

御鉢中腹から　桜島眺望

● 韓国岳からの展望

頂上から 霧島の峰々

頂上付近から　九州脊梁の山々

念願の韓国岳。　快晴の頂上の直下には大きなお釜が切れ落ち、韓国岳から高千穂峰に続く霧島連山の峰々が見える．大きな火口が見える新燃岳　お鉢を抱え両翼を大きく広げたように見える神秘的神々しい高千穂峰。この 20 座を超える霧島の峰々をあっけに取られて見取れていました．
眼下に広がる樹林の中には数々の火口池が眺められ、韓国岳のすぐ下には紺碧の水を貯めた大浪池がみえる。またはるか　南には桜島が見え、その横に小さな開聞岳が見える．
また目を北に転じるとはるか遠くに阿蘇や傾　九州脊梁山脈の山々が雲の上に浮いていた。
「今でないと歩けなくなる」とのちょっと脅迫観念にかられて、九州まででかけましたが、長年あこがれてきた山は期待にたがわず満足でした。

この若葉芽吹く樹海の中　露天風呂につかって鳥のさえずり　樹木の触合う音を聞く。
すっかり　リフレッシュ。自然から活力をもらう．浮かれた気持ちではないが、すっきり気分が良い。
これが自然の癒しの効果か・・・・・?
ふっと　色々な事が樹海のやすらぎにさそわれて　頭にうかんでくる。

もう 60 近くになると最近はいつも仕事を終えた後の事と健康の事が頭にある。
高度成長を支え、日本反映を担った団塊の世代。今檜舞台から退場をよぎなくされている。。。。。。
そんな中で、現役の第一線で先頭に立って道を切り開いてきた仲間が数人　今病気と闘っている。

仕事にかけた情熱で病気を克服して欲しい.
なにも　できないけれども　ガンバレ　ガンバレ　と　ただ祈るのみ !!
ぜひ　元気な顔をみたい。

まだ　退場しないぞ・・・・
　　明日もまた何くそで登るぞ・・・・・
　そんなことを考えながら
　霧島温泉郷　丸尾温泉にて

2001.5.2　by　M.Nakanishi

5.1.　霧島　高千穂峰 御鉢

高千穂峰　韓国岳より高千穂峰

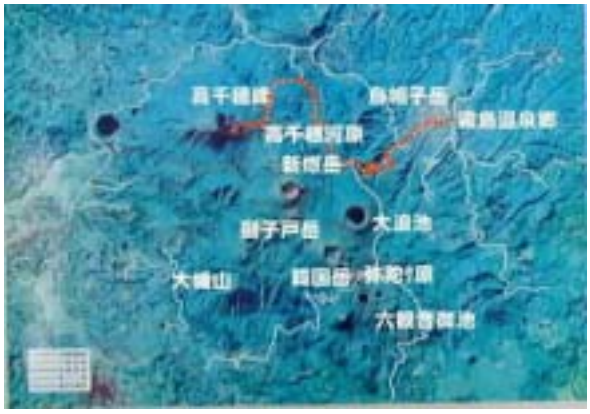
御鉢 高千穂河原より

錦江湾を望む　御鉢登山途中で

5.2. 早朝まだ日の出前　霧雨の中　神戸を出発.
　　今日は雨。明日はれてくれれば・・・・。
一度九州霧島へ行きたいと思いながら、中々行けず.
「もう　今行かないと動けなくなる。」との脅迫観念 にも似た気持ちで家内と二人出かけました.
山陽自動車道はずっと雨. 昼前に九州自動車道に入り、霧雨が降ったり止んだり。
10 数年前の同じ頃、鹿児島空港へ降り立った時、霧の中に浮かび上がった緑の高原と霧島連峰の峰々。
実に素晴らしい風景でした.
「新緑の中に　霧の中に浮かぶ山々。これが霧島の魅力。」と聞いていましたが、其の時から一度は登りたい山になりました。

熊本を過ぎる辺りから南の空に明るさ。雲の切れ間も見える.阿蘇は雲の中でまったく姿を見せないが,南 へ行けば晴れてくるかも・・・。熊本から人吉へ　ハイウエイは山の中に入って行く.
トンネルを幾つか抜けて　鹿児島県・宮崎県の県境のあたり、南の空に青空も見える中、霧島のサービスス テーションへ。ここからは緑の高原と霧島連峰の峰々が見えるはずだが、霧島高原から北西の宮崎県側へは相変わらず、真ッ黒の雲の中。今日はもう山は見えず. はやく温泉に入り、明日を期待・・・・。

【　九州自動車道から霧島えびの高原へ】



インターを下りてえびの高原の標識をたよりに
霧島高原へ。
南の方、鹿児島方面には青空もみえるが、霧島は霧に包まれ，山々の山容も見えない.
霧島高原の中にはい り､｢緑の回廊｣となずけられた新緑の道が霧島高原の中をぐいぐい登って行く。
鹿児島県側南に道がまわると青空がみえるが、北に回ると霧の中。
新緑に目を奪われながら,宿のある霧島温泉郷をすぎ、
更に登る。　霧島高原の北の端　韓国岳の登山口　えびの高原まで一度登ろうと考えたが、霧の中。
あきらめて　青空の見える南側を高千穂河原へ。

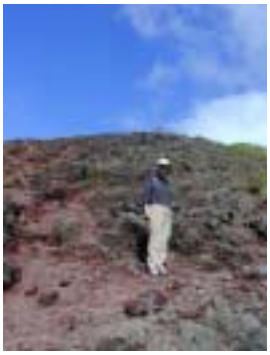
高千穂峰の登山口高千穂河原は強い風に雲が飛ばされ快晴。
高千穂峰の御鉢が、青空を背景にくっきり見える。
もっとも背後の高千穂の峰は雲の中､全く見えないが･･････。
午後 2 時過ぎ、駐車場には高千穂へ登ってきた団体登山の中高校生など多くの登山客で一杯。
正面には霧島神宮の鳥居を前に、御鉢が赤茶けた堂々たる山容を見せている.
時間的にはちょっと遅いが，登れる．急いで山靴に履き 替え、鳥居脇の登山口から真っ直ぐお鉢の縁までの急登の登山道を歩き出した.

道は赤茶けた軽石だらけの道。潅木帯を抜け、急騰の登りにかかる.
軽石がｽﾞﾙｽﾞﾙすべって非常に歩きにくいが、ぐんぐん高度が稼げる。　強い風に乗って　時折　霧が吹きぬけて行く．振返ると今登り始めた高千穂河原が緑の林の中にぽっつりと見え、幾筋かの湯煙をあげる温泉が樹林帯の中　ポツポツと見る.
その手前北の方へ目を向けると今取りついている御鉢の背後にある大きな山塊が雲の流れの中に見える．また　南には霞んではいるが、錦江湾・桜島がグリーン　ベルトの遥か向こうに見え、桜

島のすぐ東に小さくポツンと開聞岳の姿も見えている。
北は雲に包まれている事もあって　新燃岳・韓国岳へと続く霧島の稜線は見えないが、緑あふれるすがすがしい登山となった.

● **高千穂峰　御鉢山腹からの眺望**　2001.5.2.

上へ登るほどさらに急登になると共に　軽石のザレ道は塊が大きくなりゴツゴツしてズルズル滑る.
風と霧が山の姿を一瞬隠しては, また見える。御鉢の縁に立てば高千穂峰は見えるだろうか
お鉢の縁に近づくにつれ、霧と風が強くなり、縁が見えない。　霧と風の中を歩く。
御鉢の縁にやっと到達したが、猛烈な風と霧。吹き飛ばされぬようゆっくり歩く。
今まですれ違っていた人達も全くなくなり、霧の中を高千穂峰に向う。風を避けようにも岩陰なし。反対側の御鉢の中も全く見えぬ. 時折　うっすらと前方にぼんやりと山の形が現われたと思うとまた霧にかき消される. 15 分ほど御鉢の縁を歩き、高千穂峰への下りのところへ来たが, 山はやはり全く見えず.
おそらく　高千穂峰までいっても風と霧の中。時間も遅く、明日を期待してもと来た道を引き返す事にした。



高千穂の峯　御鉢の縁で　2001.5.2.

御鉢の反対側高千穂峰から新燃･韓国岳への宮崎県側だけが霧の海。残念ながら高千穂峰見る事できず。
御鉢の縁を下にちょっと降りると先ほどの風と霧がうそのようなもう明るい晴れ渡った空。もう、下る人もちらほら登る人も殆どなく、錦江湾　霧島高原を見下ろし　まわりの風景を楽しみながらゆっくりと下る。
途中　急いで登ってゆく人に出会い、「高校生が一人もう 2 時間以上下山して来ない」と聞く．御鉢の縁が猛烈な霧と風であった事　何処かで風と霧さけているのであれば良いが・・・・と気遣いながらの下山。ヘリコフターが飛んで来て頭の上を舞い始める。高千穂河原の駐車場には救急車・警察ほか多くの人が詰めているのが見える。
駐車場についた時　見つかったとのトランシーバー交信聞く．やれやれである。
御鉢の直下にひとつふたつポツンと山を下ってくる小さな人影が見える。どうもそれが行方不明だった人らしい。
ヘリコプターが其の方へ向い、駐車場で見上げている人達もほっとした気分がみえる。
御鉢の上の猛烈な風と霧を思い出しながらほっとし、明日の山行きに気分も軽くなる。

再度　えびの高原の方へ車をはしらせるが、ヤッパリ，途中から見る高千穂峰は雲を巻き，えびの高原は霧の中。
明日　晴天になる事を期待しつつ，今日の宿泊地　丸尾温泉　旅行人山荘へ向う

2001.5.2. 霧島高原　高千穂河原にて

霧島温泉郷　丸尾温泉から霧島連峰　2001.5.3.

5. 2.　　霧島温泉郷　丸尾温泉

霧霧島高原のいたる所で湯煙があがる中　大きな温泉街がある林田温泉を少しさがった丸尾温泉へ。

今日の宿は「旅行人山荘」。インターネットで前日捜した宿でまったく予備知識なし。どうせ　温泉街の街中の小さい宿と想像していたが、まったく予想外。新緑の森の中、広い敷地内　自然林の中に建

つ静かな宿。眼下には鹿児島錦江湾・桜島が一望され、ほんとうに満足の宿。
夕闇の中　桜島を一望できる湯舟につかってご機嫌。
ホテルの人に林の中の露天風呂を勧められ、明朝早くに予約し、明日の晴天を期待して早くに眠る。

5.3. 早朝まだ日の出前　快晴。飛び起きて山の景色を見る。

丸尾温泉からの霧島連峰の夜明け　2001.5.3

朝もやの中　錦江湾が見える。残念ながら　山の方は部屋からは見えず。露天風呂に行く準備をしてまずは屋上へ上がる.
噴出する湯煙のその背後にまだ真っ黒の姿で新燃岳そして 両翼を広げた高千穂峰が見える。
晴天である。新燃から反対側は前の山に隠れて良く見えないが, 韓国岳への稜線がはっきり見える.
雲一つない霧島連峰の稜線　そして　その前には点 在する霧島温泉郷の湯煙が見える.
新燃岳の頂上の背後がすこし明るく幻想的な山の景色「山の温泉はこうでなければ・・・」
今日は１日素晴らしい朝である。

下の庭におりて　露天風呂へ。これがまたビックリ。
広い庭の林の小道を森の中にはいってゆくと森の樹木につつまれた中に大きな露天風呂があり、それも 一人占め。

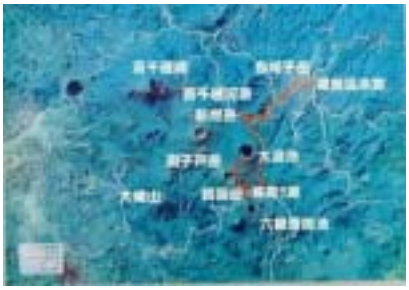
風にそよぐ樹木の音　鳥のさえずりを聞きながら、本当にゆったりした気分。
ほんとによい宿にあたった。 こんな中にいると　色んな事が頭を駆け巡る。
林のあちらこちらから鳥の鳴き声が聞こえている。 今日は最高の登山日和。
朝靄の林の中　ゆったり気分を振りきって、韓国岳登山へ。
一番の朝食を早々にえびの高原の登山口へ向う。昨日の霧の中がうそのように晴れ渡り、新緑の緑が美しい.　また、樹木のあいだから、霧島連峰が見え隠れしているが、晴れ渡った空を背景に稜線がくっきり見えている。
えびの高原の登山口からは　堂々とした大きさで韓国岳が朝焼けの中　眼前に見える.
素晴らしい登山日和。やっと見えた韓国岳。　念願の霧島　韓国岳登山をスタートした。

朝もやの韓国岳

夜明け早朝の高千穂峰えびの高原への林道

早朝　えびの高原　韓国岳登山口で 2001.5.3.

5. 3. 韓国岳登山　えびの高原登山口－韓国岳－大浪池－えびの高原



霧島連峰　地図

韓国岳　えびの高原から

大浪池より　韓国岳

1. えびの高原　韓国岳登山口で

5.3. 早朝　快晴の空に幸運を喜びながら，丸尾温泉を出発し、韓国岳の登山口えびの高原へ。
新緑の緑が本当に美しい．昨日とはうってかわって、樹木の間から霧島連峰の峰峯が垣間見える。絶好の登山日和。
早朝にも関わらず，えびの高原にはもうハイカーの車が並んでいる．正面樹林帯の向こうにはずっしりとしたボリュウム感のある韓国岳が見え　その右手には　硫黄岳　そして　あちこちで噴煙があがり、硫黄くさい．　噴気のでる周辺は草木がなく白く土が露出している。
もっと俗化した場所と思ってきたが、良く整備された気持ちの良い高原である。

えびの高原全景

韓国岳登山道より 右中央賽の河原

えびの高原

念願の韓国岳。
潅木帯の中を周囲の山や火山帯特有の景観を眺めながら登山口である韓国岳と硫黄岳の鞍部までのスタートである。天気も良いし、何処まで行くか一応　韓国岳に登ってそのまま韓国岳の山腹を真っ直ぐ大浪池におりて、えびの高原へ戻る予定。本当は新燃岳・高千穂峰まで縦走路を歩きたいところであるが、えびの高原へ車を取りに戻れないので断念。（下山後、新燃温泉に行って解ったが新燃岳まで縦走　新燃温泉に下りタクシーを呼ぶか　新燃温泉からスタートして逆に縦走してえびの高原に下りればタクシー捕まえらまえられた）

韓国岳　登山口　賽の河原へ

賽の河原（硫黄岳と韓国岳の鞍部）で

噴気がもくもくと上がる地獄谷を見ながら、ほどなく硫黄岳への分岐賽の河原　韓国岳の尾根への取りつきに到着。ふりかえると噴気で草木が「えび色」になったえびの高原全景そして背後にかつての霧島噴火の跡に出来た丸い池がﾎﾟﾂﾎﾟﾂ点在して見える．えびの高原にいる時にはみえなかったが、少し高度を稼ぐと池が見えてくる。
韓国岳１合目の標識から登りの尾根にとっついた．高千穂峰　御鉢は取っ付きから赤茶けた軽石のザレ道で歩きにくかったが、こちらの方が少し歩きやすい．

韓国岳の登山口

2. 賽の河原登山口 － 韓国岳へ

潅木の中の登山道を登って行くと登山道脇で黄色く垂れ下がった葡萄状の花を幾つもつけている木にカメラを向けている人に出会った．「キリシマ　ミズキ」という。
韓国岳に登るのが目的ではなく、この花の写真に取るのが目的という。

霧島にしかない独特の花を五月初旬につける霧島の春を象徴する 珍しい花と聞いた。
そのように聞くとなるほどその花の姿といい、枝からの垂れ下がり方　そしてあざやかな黄色に色づいた花。
今までに見た事もない木で青空に黄色が良く映える見事な花である。

「キリシマ　ミズキ」

ちょうど満開で一番きれいな時に見かけたわけであるが、急いでいれば　すっと季節を忘れ、秋の銀杏とでも思って見過ごしそう．　登山道のスタートからラッキー。

どんどん登り高度をかせぐ。潅木帯を抜ける辺りから，ゴツゴツの赤茶けた石コロが転がった道になる。振返るとまわりの緑から取り残されたように白いえびの高原　そして幾つかの火口にできた池が深いコバルトブルーに輝いているのが見える.

また北側遥か遠くには雲の合間に阿蘇・傾山など九州脊梁山脈の山々が浮かんでいる.

背後にぽっかり浮かんだ九州脊梁の山々

道は更にゴツゴツした岩肌の山腹の道となり、高度を更にかせきながら南側へ廻り込む。
今まで見えていなかった南側の景色が見え出す.
韓国岳の山腹のむこうに新燃岳・高千穂峰へと続く霧島の峰峯が見えだし，稜線が近いことが解る．また　眼下には大きな火口湖大　浪池が緑の森の中に満々とコバルトブルーの水を貯めて見える.
さえぎる物のない素晴らしい景色である。

3. 韓国岳の南側へ廻り込んで　お釜の縁へ

大浪池　　お釜の縁で　バック白鳥山　　高千穂峰・新燃岳

まわりの景色をたのしみながらのゴツゴツした岩の道を登るうちに急に前方が切れ落ちたお釜の縁に出た。韓国岳のお釜がのぞきこめる。お釜の縁をみながら韓国岳の岩だらけの頂上へほどなく到着。

3.　　韓国岳　頂上で

快晴の頂上の直下には大きなお釜が切れ落ち、一方では　韓国岳から高千穂峰に続く霧島連山の峰々が快晴の空をﾊﾞｯｸに連なって見える.
大きな火口が見える新燃岳　お鉢を抱えて両翼を大きく広げたように見える神秘的神々しい高千穂峰。この 20 座を超える霧島の峰々をあっけに取られて見取れていました.
また、眼下に広がる樹林の中には数々の火口池が眺められ、韓国岳のすぐ下には紺碧の水を貯めた大浪池がみえる。はるか　南には桜島が見え、その横に小さな開聞岳が見える. また目を北に転じるとはるか遠く春霞の中に阿蘇や傾など九州脊梁山脈の山々が雲の上に浮いている。

韓国岳　頂上からの霧島連峰　　2001. 5. 3.

えびの高原から約 2 時間の快適なハイキング。
「今　今年でないと歩けなくなる」とのちょっと脅迫観念にも似た気持ちにかられて、九州まででかけましたが、長年あこがれてきた山は期待にたがわず満足でした。

5. 頂上から大浪池へ　下山

幾つかのグループが縦走路を新燃岳めざして出発してゆく。
もう少し縦走路歩きたい気持ちをおさえつつ、頂上からダイレクト直線的に麓の大浪池へと続く道へ入っていった．本当に文字通りの直登ルートの下り。幾重にも重なった森の中へ一直線に飛び込んで行くきつい下りである。。一気に大浪池まで下り、其処から　森の中　韓国岳の麓をえびの高原までトラバース。鳥のさえずりをききながらの森林浴。

大浪池周辺で　　2003.5.3.

2 時間弱でえびの高原の県道へ。早朝から更に車・人が増えている．県道脇の薄裳も色の花をつけた小さな木に沢山の人がカメラを向けている．

知らなかったのですが,霧島の宝物「ノカイドウ」桃色のつぼみをつけ、1 週間ほどで純白の花になり散る霧島の宝ここえびの高原にしかない花。この花に出会えるのはほんの 1 週間。
ほんと初々しい清純な美しい花で、これを目当てに多くの人が来られるのも 頷ける．本当にラッキー。

今年は春が遅れ　例年 4 月下旬に咲くのが 5 月初旬にずれ，春の霧島の象徴「キリシマ　ミズキ」と重なり両方が同時に見れる珍しい年であったと 5.3.の地元の新聞が報じているのを後でました。
それにもあやかる事が出来ました．
下山後　噴気をもくもくとあげている新燃温泉へ戻り，乳白色の熱い温泉に入りました．まわりの緑に映えた乳白色のお湯に浸かって　韓国岳の頂上からの景色を思い返していました．
まだ昼過ぎ　鹿児島へゆくか　日南の城下町「飫肥」・宮崎へゆくか
まあ　足の向くままきままな旅　あとで走りながら　考えよう

2001.5.3. 新緑がはえる乳白の新燃温泉の湯に浸りながら

韓国岳のふもとに咲く
天然記念物「ノカイドウ」と「キリシマ　ミズキ」そして「ハルリンドウ」

2001.5.3.
nkido.htm by M.Nakanishi

天然記念物　「ノカイドウ」　　春を告げる　「キリシマハナミズキ」

春白に淡い桃色の混じった花をつけ、霧島を代表する天然記念物「ノカイドウ」と黄色い葡萄の房のような花を垂らし春を告げる花「キリシマ　ミズキ」。
霧島でしか見られない珍しい花を同時に韓国岳やその麓で見ることが出来た。

あとで知ったのであるが、霧島を代表する春の花『「キリシマ　ミズキ」と幻の花「ノカイドウ」の両方の花を同時に見られるのは非常に珍しい』という。　滅多にないことで本当に運の良い事と聞きました.

2001.5.3.　霧島　えびの高原にて

大浪池で見た春リンドウ

春の霧島連山　韓国岳登山　　2001. 5. 2, 3.【完】